

HIGASHIOSAKA CENTRAL ROTARY CLUB

(第2660地区)

WEEKLY BULLETIN

No. 6

東大阪中央ロータリークラブ

創立 昭和47年2月20日
例会日 毎週月曜日 12:30~
例会場所 シェラトン都ホテル大阪
事務所 大阪市天王寺区筆ヶ崎町5-38
〒543-0027 ロイヤルパークス桃坂1112号
TEL. 06(6772)2320
FAX. 06(6772)2327
E-mail:hrcr@at.wakwak.com



会長 佐藤 三千秋
会長ノミニー 百 濟 洋 一
副会長 和田 栗 一 良
幹事 大 畑 齊
会報委員長 宮 崎 康 治

MAKE DREAMS REAL 夢をかたちに

2008~2009年度 国際ロータリー会長 D. K. リー

第1695回例会 平成20年8月25日(月曜日) 第6号

本日の例会

8月25日(月) 第3例会

◎ソング 「四つのテスト」

◎卓話 「舞台芸能ばなし」

ゲストスピーカー

中川 雅夫氏

(担当: 浅野光男会員)

◎本日の献立 フランス料理

来週の例会

9月1日(月) 第1例会

◎卓話 「ロータリーRI大会出席と

アラスカクルージング」

(担当: 森 豊一会員)

◎本日の献立 松花堂弁当

先週の例会記録

8月18日(月) 第2例会

◎ビジター

大阪東南RC 杉浦勝昭氏 他1名

◎ゲスト 米山奨学生 カエルム・サイフル・アザム君

会長挨拶

会長 佐藤三千秋

先週はお盆休みをはさんでの特別休会でしたので、二週間ぶりの例会となっています。会員の皆様にはお盆の行事、また家族の行事と何かとお忙

しかったと思いますが、私はお墓参り以外は3日間程家でゆっくりしました。

私は普段テレビをあまり見ないのですが、今回は高校野球に加えて、8月8日から始まった北京オリンピックの期待される日本選手チームが出場する種目の放映が朝・昼・夜とされていますので、一度チャンネルをまわすと見続けてしまう状態でした。水泳の北島選手の有言実行の金は立派でしたが、他の種目で言いますと、女子のソフトボール、レスリング、サッカー、柔道と、日本選手の場合、男子より女子の方が安心して見ていられ、期待通りの結果を出していたように思います。「やまとなでしこ」に安定感を感じました。

当2660地区にも女性会長は何人かおられますし、女性のガバナー補佐ノミニーもでてきます。何かオリンピックの映像とダブってきた感じがします。8月は会員増強月間です。大きなテーマで一番の関心事です。8月、9月とこのテーマを皆様と一緒に推進したいと思いますので、よろしくお願ひします。

幹事報告

幹事 大畑 齊

1. ダメ・ゼットイ募金箱に21,998円集まりましたので、送金いたしました。
2. 他クラブ例会変更1件を掲示いたします。

出席報告

金子(勝)委員

本日の会員数	44名
本日の出席者数	29名
本日の出席規定適用免除会員	15名
本日の出席率	76.32%
7月28日の修正出席率	83.33%

SAAニコニコ箱報告

松浦副SAA

西村(典)会員 傘寿を迎えて。

松岡会員 なにやら、秋の気配を感じました。どうやら夏を無事過ごせそうです。

委員会報告

社会奉仕委員会

委員長 細川勝治

第2660地区ニコニコキャンプ実行委員会より少年少女ニコニコキャンプ協力への御礼が下記の通り届いております。(以下抜粋)

8月1～3日の日程で箕面市立数学の森野外活動センターにおいて、大阪梅田ロータリークラブのホストにより開催させて頂いた「2008年度少年少女ニコニコキャンプ」では、天候に恵まれたこともあり、全てのプログラムにおきまして成功裡に実施できました。これも皆様方の御協力のお蔭と深く感謝申し上げます。

会員増強委員会

委員長 出原正秀

「会員増強は口先だけではなく、行動に移して頂きたい」という地区からの強い要請を受けまして、当クラブでは早速、次回8月25日の例会終了後、各テーブルにわかれてのバズセッションを実施することに決定致しました。会員の皆様方には御多忙中誠に恐縮に存じますが、万障お繰り合わせの上、御出席頂きまして、新入会候補者に関する情報提供をお願い致したく存じます。

入会の可能性の有無に関係なく、出来るだけ多くの情報を提供して頂けましたら幸いと存じます。

卓話 日本で学んできた『人生の歩み道』

米山奨学生

カエルムザメル・サイフル・アザム君

2008年9月になると日本にいるのは丸々5年間になります。この間にいろんな人に出会ったり、色んなチャレンジや試練を乗り越えたり、色んな

辛い時や幸せな時を過ごしたりしていました。この5年間で何を学んできたのですか？専門の勉強は確実ですが、それよりも人生の歩み道を先に考えなければなりません。私のお父さんが留学させた理由は「人生での視野を広くする」ためです。マレーシアでは留学する人数が多く、世界のあらゆる国に留学しています。この5年間、ほとんどは日本人と他の外国人と付き合い過ぎて過ごしました。去年の3月に、ロータリー米山奨学金の合格通知が届く前に、卒業後日本で就職するか、マレーシアに帰るか問題になりました。当時、日本で就職したい熱い心がありましたが、お父さんは当時65歳、「マレーシアに帰って家庭の面倒をみて下さい」という期待があります。「日本で夢を実現したい」という意欲と戦い、結局「夢」より「親孝行」を優先しなければならず、イスラームでは神様を信じる次には親孝行であると分かっていました。

キャリアでどんなに頑張っても人間の根本的な責任を捨ててはいけません。それは「親孝行」ですので、「帰国します」と決めました。今までに色々な「夢」を実現しました。大阪工業大学ではソーラーカーを作って鈴鹿サーキットで走りました。また「日本に留学」という「夢」も実現しました。

去年、精神の争いの中で自分は「何のために生きている」という疑問が出てきました。その前はイスラームに対しての信仰心は浅く、自分の意欲や自己で行動していましたが、身の回りに色々な事が起こることによって、自力でイスラームを勉強して理解を深めようと努力しました。頭に浮かんだのは「欲しい物」と「必要な物」で、「欲しい物」はいっぱいあります。じっくりと考えてみると、「欲しい物は目的であるのか」と大疑問が出てきました。今は「欲しい物」はあまり考えずに「必要な物」を考えたいと思っています。この世に生きるのは僅かな時間です。生きている間に何をすべきかを、若いうちに考えなければなりません。米山奨学生になってから視野が更に広がり、生きる目的や人生で何をすべきかが明確になりました。貧困な状態の人々を助けたり、ポリオなどの病気の研究に投資したりという奉仕活動があることも知りました。ロータリーの精神はイスラームの精神に近く、特に「四つのテスト」と公式標語「超我の奉仕」は適切であると思います。